

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第139号



題字は岸信介先生書

2018年(平成30年)10月26日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎ 0820(52)5800 FAX 0820(52)5970

編集/議会広報委員会 印刷/キッショウ株式会社 <http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikajimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp



たぶせスポーツまつり (10月14日)

秋空のもと 盛大に開催されました。

9月定例会・7月臨時会	2P
委員会レポート(決算審査特別・総務文教・経済厚生)	4P
一般質問 6人の議員が町政の課題を問う	7P
研修報告	13P
議会だより138号を読んだ感想です	15P



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

29年度決算

9月定例会

一般会計57億1,664万円
特別会計48億2,724万円を認定



本会議 (9月11日)

平成30年9月定例会は9月11日から16日間の日程で開かれました。本定例会では、町長報告3件のほか、決算1件、補正予算5件、条例6件、契約1件及びび人事3件の合計19件の議案を審議しました。なお初日の本会議では、6人の議員が一般質問に登壇しました。

平成29年度町諸会計決算の概要

■歳入歳出の状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	58億8,736万円	57億1,664万円	1億7,072万円	
特別会計	国民健康保険	23億 730万円	21億8,881万円	1億1,849万円
	下水道事業	7億8,834万円	7億8,785万円	49万円
	介護保険	16億4,371万円	15億8,840万円	5,531万円
	後期高齢者医療	2億6,221万円	2億6,218万円	3万円
合計	108億8,892万円	105億4,388万円	3億4,504万円	

町長報告

- 平成29年度基金運用状況
- 平成29年度決算に係る健全化判断比率
- 平成29年度決算に係る公営企業の資金不足比率

町長提出議案

29年度決算認定

一般会計及び特別会計
一般会計の歳入総額は58億8736万円、歳出総額は57億1664万円で、差引額(形式収支)は1億7072万円の黒字になりました。

歳入では、町税が法人税及び固定資産税の増収で前年度比5896万円(3.5%増)です。

また、繰入金として前年度比4500万円(180%増)となっています。

町債は、地域防災センターの新設や、中学校の大規模改造(空調)事業等により、1億1385万円(38.3%増)です。

繰越金は前年度決算の余剰金の減額により前年度比1億5887万円(57.2%減)です。

歳出では、主な前年度比の内訳として普通建設事業費の1億4603万円(53.7%増)です。

また物件費が7151万円(9.5%減)で道路橋梁長寿命化計画策定事業や、情報セキュリティ強化事業の減額等によるものです。公債費は4312万円(5.8%減)で前年度に実施した繰り上げ償還によるものです。

また、特別会計4会計の歳入合計額は5億156万円、歳出合計は48億2724万円で、差引額(形式収支)は1億7432万円となりました。

【全員賛成】

30年度補正予算

●一般会計

歳入歳出それぞれ2億4059万円増額し、予算総額62億5476万円とするものです。国庫支出金は、土木施設災害復旧事業や、社会資本整備総合交付金などによる増額です。

《主な歳入》

地方交付税 4688万円増

国庫支出金

3986万円減

《主な歳出》

総務費

8258万円減

農林水産事業費

5358万円増

【全員賛成】



7月豪雨被害(小行司)

●特別会計

国民健康保険

前年度清算や基金積立金等の増額補正です。

【全員賛成】

下水道

鳥越ポンプ場の洪水時排水ポンプ取替に伴う増額補正です。

【全員賛成】

介護保険

前年度精算や介護給付費準備基金への積立金等の増額補正です。

【全員賛成】

後期高齢者医療

前年度精算等の増額補正です。

【全員賛成】

条例

田布施町附属機関に関する条例の整備に関する条例の制定

【全員賛成】

田布施町本社機能移転等における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成】

田布施町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【全員賛成】

人事

固定資産評価審査委員会の選任

加藤一生氏(定井手)が本年9月30日をもって任期満了になるため、引き続き同氏を任命することに同意するものです。

【全員賛成】

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

岩本宏司氏(大波野上)が本年12月31日をもって任期満了になるため、引き続き同氏を任命することに同意するものです。

【全員賛成】

教育委員会委員の任命

谷一夫氏(瀬戸)が本年9月30日をもって任期満了になるため、引き続き同氏を任命することに同意するものです。

【全員賛成】



谷 一夫氏

臨時議会

平成30年7月臨時会は7月13日に開かれました。本臨時会では専決処分1件、工事請負契約1件の合計2件の町長提出議案を審議しました。

専決処分

30年度一般会計補正予算 山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員に欠員が生じたため、7月17日告示、7月26日投票の日程で行われた選挙費用の承認です。

【全員賛成】

契約

田布施町庁舎耐震改修等工事における工事請負契約の締結について

6月29日に入札を行い、時盛建設・仲田工務店特定建設共同企業体を落札者として決定。請負金額は、2億9484万円、工期は、平成31年3月31日までとされています。

【賛成多数】



臨時会(7月13日)



耐震工事中的の本庁舎



岩本 宏司氏

決算審査特別委員会

29年度決算

歳入歳出とも前年度を上回る



決算審査特別委員会(9月14日)

「平成 29 年度田布施町歳入歳出決算の認定」については決算審査特別委員会を設置し、9月14日に委員会を開き、慎重に審査しました。審査の結果、全員賛成で認定されました。決算額は、地域防災センターの新設や中学校大規模改造(空調)事業の増により町債及び消防費や教育費が増額となったことから、歳入歳出とも前年度を上回りました。

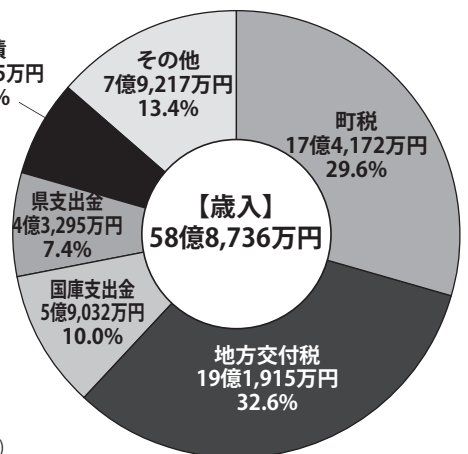
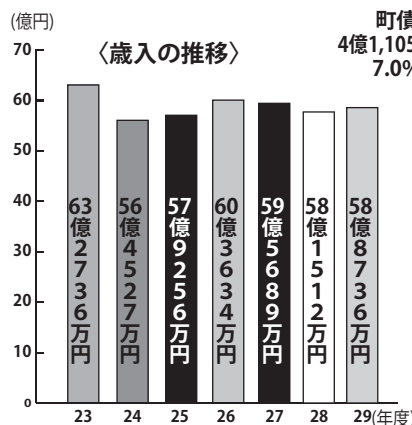
平成 29 年度田布施町一般会計決算の概要

歳入

町税の徴収率は96.0%で、前年度比0.2ポイント上昇。不納欠損額は802万円。収入未済額は6,527万円で、前年度比で289万円減少した。公平な徴収のために、日頃の地道な業務の積み重ねが、徴収率の上昇及び収入未済額の減少という形で表れている。

税外収入は、収入済額41億4,564万円と、前年度比1億1,327万円増加した。これは、繰入金の増加等によるものである。

(監査委員による審査意見書より)

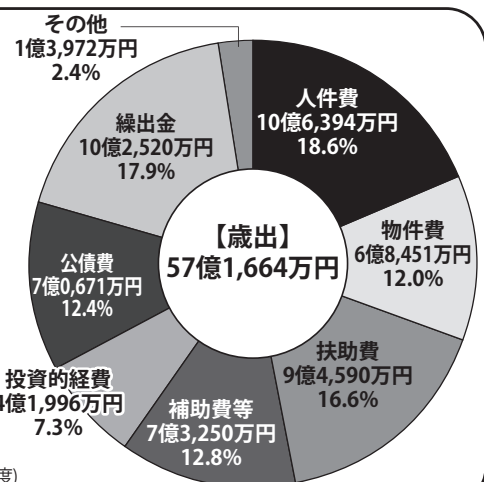
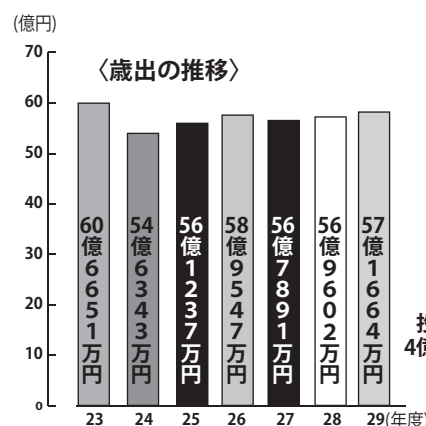


歳出

支出済額は57億1,664万円で、前年度に比べ0.4%増加している。

中学校空調設置事業や地域防災センター新設事業に係る工事が主な理由である。

(監査委員による審査意見書より)



財政構造の弾力化

- (1) 経常収支比率 94.4%(3.0ポイント低下)
- (2) 実質公債費比率 12.7%(0.4ポイント低下)

基金・地方債現在高

- (1) 基金現在高 15億7,147万円
(5,647万円増加)
- (2) 町債現在高 107億3,107万円
(3億4,546万円減少)

おもな質疑

Q&A

一般会計

歳入

△保育料収入未済額▽

Q 収納対策は

A 月々督促状を発送している。児童手当の支払い時に保育料を収納してもらう方法もとっている。

△物品売却収入▽

Q 何を売却したのか。

A 古い公用車を売却したもの。

Q オークションのサイトを利用してはどうか。

A 差し押さえ物品等は利用している。

△不納欠損額▽29年度840万円

Q 何年で処理対象となるか。

A 滞納処分を停止すれば3年。しない場合は5年。

Q 収入未済額1億1900万円の中に不納欠損額と想定されるのはいくらか。

歳出

◎議会費・総務費

△マイナンバー制度▽

Q 制度に基づく支出は今年度で終わるのか。

A ソフトウェアのリース契約は5年。今年度は3年目となりまだ続く。

△ふるさと納税▽

Q 総務省の見直しが話題となっているが。

A 総務省は返礼品を3割限度で産直でない認めないとの見直し。当町は30年度より3割に引き上げた。産直でないものが1件あり早急に見直す。

A 30年度は740万円が予測される。できるだけ徴収に努め減額を目指す。【全員賛成】



Q 町外に寄附される額は

A 金額は予測しかねる。

Q 町長一任の用途は。

A 城南保育園の整備。

民生費・衛生費

△一斉清掃▽

Q 土砂の処理は。

A 建設業者の処分場に運搬している。



一斉清掃での土砂運搬

△障がい者雇用▽

Q 町職員の状況は。

A 国の規定通り実施している。

◎民生費・衛生費

△一斉清掃▽

Q 建設業者の処分場に運搬している。

槽に転換する対策を進めている。

△不用品4700万円▽

Q 民生費の発生額が多いのでは。

A 前年度実績をベースに予算を組むため予測違いが生じたもの。

◎労働費

△観光パンフレット▽

Q 印刷業者ジャパン総研とは。なぜ町外業者に依頼したのか。

A 広島に営業所があり、ブランド商品開発をしてもらい、田布施町にも詳しいため。

△I・J・U推進協議会・おいでえ▽

Q 不在が多いようだがどうか。

A 事務員が一人のため、対応ができないこともある。

△のんびらんど管理委託料▽

Q 変更はないか。

A 収入が増えれば減額する。

◎土木費

△跨線橋(田布施駅)▽

Q 補修が予想されるものを譲り受けるのはどうか。

A 当時の状況は不明。

△町営住宅家賃滞納▽

Q 滞納件数は。

A 34件。

Q 収納率を上げてもらいたい。

A 夜間徴収など努力している。今後も続けていく。

◎教育費

△特別支援教育費▽

Q 内容は。

A 特別支援学級児童の就学奨励費。

△学校の空調整備▽

Q 小学校の通級教室・特別学級に整備されていないが。

A 検討する。

△県派遣指導主事▽

Q どのような役割か。

A 専門職で教職員や児童生徒の指導業務、県教委との橋渡しの役割。

△奨学金▽

Q 基金が十分なのに積立する理由は。利用者を増やす努力を。

A 基金の減額を防ぐため、

繰入金という形で毎年実施。啓発に努める。

特別会計

◎下水道特別会計

△使用料滞納分▽

Q 収納率は。

A 上がっている。

△支障物件移転補償▽

Q 何件あるのか。

A 補償2件。250万円。

△不用品299万円▽

Q 多い理由は。

A 積算算定の際に多めに見積もったため。

◎国民健康保険特別会計

△特定健康診査・40歳以上が対象▽

Q 受診率(22%)が低い理由は何か。

A 広報で周知徹底を図っているが若い層の意識が低い。

△療養給付・高額医療▽

Q あわせて6300万円、の不用額が出ているが保険料の引き下げをしてはどうか。

A 今年から都道府県化され保険料が上がる見込みのため、それを抑制する財源としたい。

◎介護保険特別会計

△後期高齢者医療特別会計

【全員賛成】

総務文教



総務文教委員会(9月21日)

総務文教委員会を9月21日に開き、平成30年度一般会計補正予算、条例の制定、条例の一部改正を審査しました。

一般会計

Q 地方債の内容は。

A 借りるほうを減らして、交付税参入のない部分の返還を先にしていく。バランスを考えながら行う。

Q 選挙費用について

A 町長選挙と補欠選挙は同日にあるのだから、選挙長や、選挙立会人の必要ないものは減額できないのか。

A 別々に必要。

A 開票は別々。それぞれに立てなければならぬ。

Q AEDのバッテリー等点検はしているのか。また、町内いくらあるのか。



撤去されたブロック塀(城南小学校)

A 点検はない。パットや、バッテリーは消耗品で、2〜3年で交換している。

A 町内の施設に26台配置。台数の見直しを検討する予定。

Q ブロック塀の危険箇所はどのくらいあるのか。

A 3か所。西小、城南小はグラウンド内のブロック塀と東公民館にあるブロック塀。

Q 7月の豪雨災害。農地、道路の崩れた箇所はどのくらいか。

A 補助に該当するものは農地3カ所、施設2カ所。土木4カ所。単独は農地7カ所、土木30カ所。

条例

田布施町附属機関に関する条例の整備に関する条例の制定

【全員賛成】

田布施町駐車場条例の一部を改正する条例の制定

【全員賛成】

田布施町本社機能移転等における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成】

経済厚生



経済厚生委員会(9月19日)

経済厚生委員会を9月19日に開き、平成30年度田布施町一般会計補正予算、条例2件を予備審査。30年度特別会計補正予算4件と条例3件、工事請負契約の締結1件を審査しました。

特別会計
国民健康保険

【全員賛成】

下水道事業

Q 鳥越ポンプ取替工事は工事費が高くないか。

A リース代も含み、見積りはもう少し安い。

【全員賛成】

介護保険

Q 国が法改正をしてシステム改修するのに国からの補助金が少ないのではないか。

A 国に直接言えないが、会議等で県に伝えていく。

Q 介護給付費準備金を31年度は見直ししたらどうか。

A 基金の残高等考えながら検討したい。

後期高齢者医療

【全員賛成】

条例

田布施町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

Q 町内に該当箇所はあるのか。

A 町内にはないが、県から条例を制定するよう指摘された。

Q 小規模保育とは何か。

A 保育の資格を持った人が家庭で預かるような施設で、県内には該当箇所はない。

【全員賛成】

田布施町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

Q 5年経過したら、資格がなくても雇用できるのか。

A できる。

田布施町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

Q 保育の依頼を認定するのは町か。

A 両親の就労状態、勤務時間等のみで判断し町が認定する。

Q 特定教育・保育施設とは。

A 町内の保育園は該当する。



児童クラブの様子

工事請負契約の締結
中央雨水1号幹線(基8工区)管渠築造工事

【全員賛成】

Q 管渠工事は進んでいるのか。

A 庄山バイパスまでは工事済。

Q 国の補助率は。

A 1/2となっている。

【全員賛成】

9月定例会 一般質問

6人の議員が町政の課題を問う

災害対策

迅速な情報伝達に

「SNS」を 西本 篤史

「SNS」も検討する

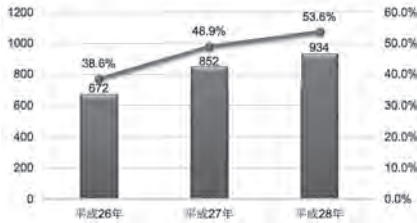
長信町長



西本 篤史 議員

Q 7月にあった西日本豪雨災害では岡山、広島、愛媛で多くの死者が出た。迅速な情報伝達をするために、他自治体では「SNS」のフェイスブック、ツイッター、ラインを使っている所もある。町も検討してはどうか。また、災害時の自治会の役割は明確か。

A 最新ツールとして、アラート。本町独自の情報伝達は、ホームページ、防災メール、防災行政無線、自主防災組織の連絡網、消防団等により情報を発信している。「SNS」も検討する。自治会の役割は今一度、各自主防災組織や自治会連絡協議会と協議する。



災害対応としてのSNS活用状況
：内閣官房 HP より引用

教育問題

これからの方針は

西本

人間性豊かな日本人の育成に努める
尾崎教育長

Q コミュニティ・スクール、道徳、英語。プログラミング教育。「学力・体力・心の教育」など次々と新しい取組が出ている。また、地域社会に貢献する人材育成も大事ではないか。小学生のプログラミング的思考とはなにか。来年度からの教育方針はどうか。

A 中学校で道徳科の授業がスタート、人間性豊かな日本人の育成に努める。論理的思考をコンピューターの思考に結びつけることにより、問題解決学習につなげる。自己肯定感や郷土を愛する心の醸成、主体的に関わる意識の高揚を図る教育を進める。

ネット依存症

対策は

西本

広報や出前講座等で啓発する

町長、教育長

Q 病的なインターネット依存が疑われる中高生が、5年間でほぼ倍増し、全国で93万人になった。ゲーム依存症は6月にWHOが疾病にしたばかりである。

A 広報や出前講座等で啓発に努めたい。熱中できることがあれば子供たちのネット依存の割合は低くなる。学校、地域、保護者、行政等が、遊び場や野外活動場等の充実、スポーツや地域活動、ボランティア活動等の場や機会を準備していく。

ネット依存に関する8項目の質問と「当てはまる」と答えた人の割合(高1)

・ネットに夢中になっていると感じる	58%
・予定よりも長時間使用する	55%
・制限しようとしてうまくいかなかったことがある	41%
・トラブルや嫌な気持ちから逃げるために使用する	27%
・使用しないと落ち着かない、いらいらする	22%
・熱中を隠すため、家族らにうそをついたことがある	17%
・使用時間がだんだん長くなる	12%
・ネットのせいで人間関係などを台無しにした、しそようになった	9%

(5項目以上該当するとネット依存が疑われる)

厚生労働省研究班より

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

次期町長へ

希望することは

河内 賀寿

答弁は控える

長信町長



河内 賀寿 議員

Q 6月議会で、長信町長の今季限りでの引退が発表された。本当に長い間ご苦労様でした。さて次期町長への引継ぎということ、ぜひ続けてほしい、または、始めてほしいなど、いろいろと考えもあると思う。希望することなどあれば、お聞かせ願う。

い、または、始めてほしいなど、いろいろと考えもあると思う。希望することなどあれば、お聞かせ願う。



中学校運動会開会式での長信町長

田布施川

堤防は大丈夫か

河内

当面危険箇所はない

町長

Q 7月豪雨で島田川の堤防が決壊した。本町も9年前、田布施川関戸橋付近が決壊寸前までいき、何十台ものトラックによる大型土嚢等の大量投入で防いでいたことがあった。補強はされたりうが現在の田布施川の堤防は大丈夫か。万一の時のトラック手配など万全か。

A 平成21年7月21日、田布施川関戸橋付近の左岸が決壊寸前になり、避難勧告も出した。その後県による河川改修で当面危険といった箇所はない。トラックの手配については、関係団体と、柳井土木事務所と緊急時の協定を結んで体制を整えているので万全である。



9年前の関戸橋付近の崩壊現場

A 事務引継ぎは、地方自治法に定められた規定に沿って行っており、各課のすべての事務事業が対象である。現在、各課に引継書の作成に向けた準備をするよう指示している。各課長等のヒアリングは、本会議終了後を予定。この場では答弁は控える。

小学校のエアコン

設置の検討を

河内

迅速な整備を目指す

町長

Q この夏の異常な猛暑を受け、国は全国の小中学校普通教室エアコン設置

の補助の検討を始めた。本町は財政難の中、町長の英断により、中学校は



中学校運動会教室開放冷房の中、快適な弁当タイム

A 今年の異常な猛暑は、空調施設整備の優先順位を、大変高めたことと考える。また国の補助の検討の報道発表もあった。今後情報収集を行い、可能なら積極的に補助申請をしたい。同時にリースによる整備等、併せて検討し、できる限り効率的かつ迅速な整備を目指す。

昨年9月より設置され、猛暑も跳ね除けた。さて小学校への設置は、命にかかわることもあるので、早急な検討を望む。

住民の終活と行政の関わり

現状は

松田 規久夫

各課で適切に対応

長信町長



松田 規久夫 議員

Q 終活は行政が補い、地域が支える必要があるが主体は家族となる。①独居老人の孤独死の件数は。②引き取り手のない遺骨の件数は。③電動カーは高齢者対策の好例で登録状況は。④自宅や近隣にある墓の把握は⑤所有者不明の土地、家屋の発生状況はどうか。



所有者不明となっている墓(波野市)

A 施策として高齢者見守りネットワーク事業がある。①今年度は無いが29年度に2日後と約10日経過の2件。②身元不明2件、明らかなもの1件。③17件の登録。④把握していない。⑤課税対象で所有者不明の土地15件、家屋が7件。相続放棄や相続人不存在によるもの。

長信町政の総括は

3期12年の振り返りは

松田

住民の協力に感謝

町長

Q 6月議会で町長選に向けた進退を明らかにされた。3期にわたる総括を述べる責務があると思うので問う。①高校跡地への移転は中止となり、耐震補強となったこと。②国営ほ場整備事業について。③単独町政について。④職員数の増加について。

A 長い間のご支援、ご協力を感謝する。①本庁舎の耐震改修等も紆余曲折はあったが、事業着手することができた。②農振農用地では、将来ほぼ実施済みとなる予定。③「住みよい町、田布施」を指して町づくりしてきた。④最低限の人材の確保を行ってきた。



本会議で答弁する町長

必要とされる介護職員

確保できるか

瀬石 公夫

対応策を検討する 長信町長



瀬石 公夫 議員

Q 団塊の世代が75歳以上になる2025年度には、必要とされる介護職員数に対して確保できる見込み数の割合の、全国平均は86・2%で100%確保できる都道府県はない。山口県は88・8%で3709人不足する。高齢者が十分な介護サービスを受けられない。対応は。

A 町内の施設等の介護職員確保の実情については、不足傾向であり、確保に苦慮されている。若い世代の減少等により、より一層の介護職員の不足が見込まれるため、近隣市町と広域的に対応策を検討する。また、介護予防に力を入れ、職員不足の解消につなげたい。



特別養護老人ホーム たぶせ苑

中学校運動会とクリーン作戦

日にちが重なる 瀬石

再検討する 教育長

Q 毎年9月の第2日曜日に中学校の運動会とふれあいクリーン作戦が実施されるが、日にちが重なり、どちらかに参加できないと苦情がある。二つの行事は同じ教育委員会の所管であるため、部内調整ですむことであり、町民が苦痛な思いをしている是非改善を。

A ふれあいクリーン作戦の趣旨は、親子が、地域の人々と清掃活動などを通じて連帯感を深め美しい町づくりにも貢献していこうと呼びかけている。ただ、残念なことに子どもたちの姿が見える地区が少ないのが現状で、名称等の取り扱いを含め再検討したい。

通学カバンが重い

軽くできないか 瀬石

学校と協議する 尾崎教育長

Q 中学校の生徒は、通学カバンと補助バッグを合わせて10kg以上の大変重い荷物を最長で毎日4km持ち歩くことになる。また、小学生の母子2千人を調べたところ、首などに何らかの痛みを訴える子どもが約3割いた。子どもの成長への影響が心配。軽くできないか。

A この、9月3日「文部科学省が重いランドセルを『置き勉』で改善へ」と、通学時の荷物の負担軽減について検討するように、全国の教育委員会に通知する方針が公表された。通知を受けてアンケート実施など学校と協議し、苦痛を感じることはないよう、再検討する。



ランドセルを背負って登校する小学生

自然災害

住民避難の徹底は

國本 悦郎

早期発令・情報伝達を

長信町長



國本 悦郎 議員

Q 豪雨等甚大な被害の教訓を活かすため、①自然災害時、住民避難の徹底は。②位置が分かりづらい田布施南地域防災センターへの案内表示を。③桜川の中央に橋脚のある老朽化した橋の改修を。④自然災害の遭遇時、罹災証明を発行してもらうまでの手順の住民周知を。



麻里府地区からは分かりづらい田布施南地域防災センターの位置

A ①避難情報等の早期発令・情報伝達に努める。②防災センターへの案内表示看板や街灯の設置など整備予定にしている。③現在の利用状況も考慮し、撤去も一つの方法と考える。④罹災証明書等の入手方法や証明書の発行場所をあらかじめ配布する等住民へ周知したい。

高齢者福祉

健康寿命の延伸の施策は

國本

田布施町健康増進計画により実施

町長・尾崎教育長

Q 健康寿命を延伸する社会のため、①健康寿命延伸のための取組は。②健診・検診のデータの活用や同時実施は。③後発医薬品の使用促進は。④認知症

に関する取組は。⑤総合事業によるサービスの質低下は。⑥共生型福祉施設の推進や学校と施設の一体化等は。

A ①田布施町健康増進計画を策定して取り組んでいる。②集団検診で同時受診率は低い。③希望シールにより医療機関等に伝えていく。④認知症初期集中支援チームを設置している。⑤トラブルや苦情等はない。⑥町独自では進められない。学校との一体化は難しい。

『国民の健康寿命が延伸する社会』に向けた予防・健康管理に係る取組の推進について

1. 趣旨

- いわゆる「団塊の世代」の全てが75歳以上となる2025（平成37）年に向け、日本再興戦略や健康・医療戦略等を踏まえ、『国民の健康寿命が延伸する社会』を構築し、国民が健やかに生活し、老いることができる社会を目指して予防・健康管理等に係る具体的な取組を推進する。
○また、これらの取組を推進することにより、2025（平成37）年に向け、5兆円規模の医療費・介護費の効果額を目指す。
○なお、今回は、主として、個人の主体的な健康の維持増進への取組を奨励する主要な取組を掲げているが、これらの取組の推進に併せて、社会保障・税一体改革に掲げられている医療・介護サービスの提供体制の効率化・重点化と機能強化に係る取組（平均在院日数の減少等）や、健康寿命の延伸のために更に必要と考えられる効果的な取組についても推進していく。

2. 予防・健康管理等に係る主な取組

(1) 健康寿命の延伸を図る上での課題

*「日本再興戦略 中短期工程表」では「2020年までに国民の健康寿命を1歳以上延伸【男性70.42歳、女性73.62歳（2010年）】」という目標を掲げている。

国民の健康寿命が延伸する社会（厚生労働省HPより）

中学校の天体望遠鏡

維持管理は

竹谷 和彦

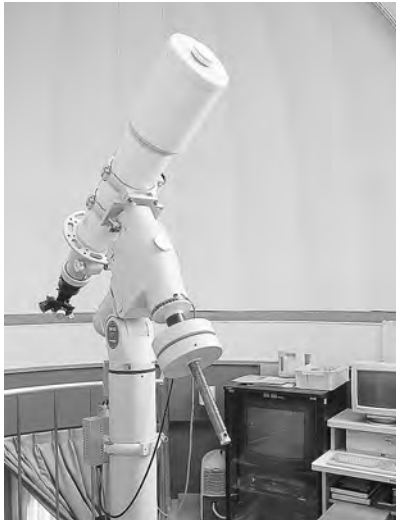
今後必要に応じて検討する

尾崎教育長



竹谷 和彦 議員

Q平成6年9月に新校舎が完成し立派な天体観測ドームが始動した。以後24年が経過し現在ではコンピュータの自動導入システムが使えず観測会では操作を手作業により行っている。維持管理の状況はいかがか。また授業での活用は行わないのか。



中学校の天体望遠鏡

A施設のメンテナンスは、町としては実施しておらず「天文同好会」のご好意で行われている。天体観測施設は町民の生涯学習施設として整備されたものであり、学校の授業で使用することはない。今後整備の必要性が高いようであればシステム更新等を考えたい。

平成30年度 町村議会広報クリニク

7月10日(火)東京都の全国町村議員会館で開催された広報クリニクに河内・西本の2名の委員が参加しました。

講師のウイズワークス(株)取締役「月刊総務」編集長、豊田健一氏による町村議会広報誌への的確なアドバイスは今後の議会だよりを発行する上で大変参考になりました。

各町村の広報誌を1ページずつ批評される中で、本町議会広報誌については「表紙は見本のように」と感想を述べられ、文章構成についても好評価でした。また、全国の他町村の広報担当議員との間で活発な意見交換が行われ刺激を受け、これからの広報活動に良い励みとなりました。



広報クリニク(7月10日)

平成30年度 町村議会広報研修会

10月9日(火)、東京都で開催された平成30年度町村議会広報研修会に参加しました。3人の講師による研修で、最初に朝日新聞の前田安正氏に「読み手に伝わる文章の書き方」について、文章作成の基本を丁寧に教えていただき、次にアートディレクターの筒井美希氏には「議会広報誌のデザイン

を良くするヒント」として、具体的な事例に沿った演習を行いました。最後はグラフィックデザイナーの長岡光弘氏による「優良議会広報クリニク」が行われ「最優秀賞及び優秀賞(総合2位)作に見る光彩を放つ編集力」について解説いただきました。大変有意義な内容の研修会でした。



広報研修会(10月9日)

山口県町議会実務研修会

8月28日(火) 町商工会議所(サリジエ)で開催された山口県町議会実務研修会では、同志社大学大学院教授の新川達郎先生による「計画・予算への議会の取組み」政策過程への関与を深める議会」これから求められる町村議会の役割」の講演会に参加しました。



議員実務研修会(8月28日)



同志社大学大学院教授 新川達郎先生

山口県町自治研修会

9月27日(木)、山口市で平成30年度山口県町自治研修会が開催されました。本町からは町長と議員10名が出席しました。講師は、防府市出身で、フジテレビ報道局上席解説委員の平井文夫先生で「日本の抱える課題と政権の行方」と題して講演されました。



自治研修会(9月27日)



フジテレビ報道局上席解説委員 平井文夫先生

視察研修に来町

静岡県富士宮市

平成30年8月2日(木)に静岡県富士宮市議会・政経会(5名)が来町されました。

富士宮市は、人口約13万人、面積約389.08km²で、古来より地理的にも文化的にも富士山との関わりが深く富士登山道の富士宮口を有します。また富士山の湧水が豊富であり水に関する工業が盛んである他、観光も盛んなところです。



ほ場整備現場視察



富士宮市議会の研修

研修内容は、田布施町のほ場整備や就農支援について、町の担当者から説明を受け、農業の後継者問題や農地集積の課題など積極的に質問され、理解を深めておられました。研修後、ほ場整備の実施工区にも足を伸ばされ、担当職員から事業の概要や暗渠排水の仕組みについて説明を受けた後、質問され、精力的に調査しておられました。

モニター懇話会を 開きました



モニター懇話会 (7 月 26 日)

7 月 26 日 (木)、田布施町役場にて議会広報誌のモニター懇話会が開催され積極的な意見交換がされました。モニターの皆さんのご意見を広報誌作りに生かしてまいりますと思います。
モニターのみなさん、一年間より良い広報誌づくりにご協力よろしくお願ひします。

発見！クイズ たぶせ？

みなさん、田布施についてどのくらいご存知でしょうか。

「暫時休憩」ちょっと一息という意味と、田布施をもっと知っていただきたいということで、モニターを設けることになりました。

？では、この写真は何の石碑でしょうか。



正面からだ簡単にはわかりやすそうですが、横から見ると少し難しくなりますね。

正解がわかった方はぜひ、ご応募ください。

※お1人様1回限りのご応募とさせていただきます。複数ご応募いただいた場合は無効といたします。

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名をご記入のうえご応募ください。

●宛先

〒742-1592

山口県熊毛郡田布施町大字下田布施3440-1

田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り 平成30年11月30日

●Eメールからもご応募できます

gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp

正解の中から抽選で1名様に千円分の図書カードをお送りします。

なお、正解者の発表は本誌では控えさせていただきます。ご了承ください。

議会だより

138号を読んでの感想です

町政推進策の共有

佐々木 悦正

「6月定例会一般質問7人の議員が町政の課題を問う」写真、画像、表、解説が整然と掲載されていた。「自治会・役割を明確に」について、西本議員の質問に注目し、私なりの知見と考えを述べます。

自治会は、地域コミュニティの核として、安全で安心な生活を送っていくためには欠かせない組織です。役割のひとつとして「行政情報の連絡活動」があります。一つは広報誌の配布。二つ目は各種お知らせの配布、回覧です。

議会だよりをはじめ各種団体からの情報誌を行政と地域住民が共有するための手段、道具（紙）として最大限活用すべきだと考えます。

住みよい町田布施、実現のために、行政（自助・共助）が、両輪となるようその推進役の一人にならなければならぬと痛感しています。

子どもはバロメーター

三輪 道代

育てたキユウリを、嬉しそうに手にする、議会だより138号の園児の笑顔は、「命の危険を及ぼす暑さ」なる言葉を耳にする連日の暑さにも、夏の恵みのうれしさを思い出させてくれました。

猛暑のほかに、各地で地震・豪雨災害に見舞われる中、前号で着工が紹介された田布施南地域防災センターの視察リポートは、その後の経過がわかる記事として改めて目に留まりました。

防災センターが、今後地域の安心の拠所となることがわかりました。「災害は忘れた頃に、想定外でやって来る」と言われますが、備えあれば憂いも少しは軽減されるでしょう。

その他、様々な視点からの質問に、写真・解説文等で工夫が窺われます。選挙年齢が18歳へと引き下げられた今、高校生ならこの議会だよりをどう見るのかなど、ふと思いつきながら読みました。

モニターを引き受けて

登村 和子

昭和53年に田布施町民になり、はや40年になります。この間、議会だよりを熟読したのは何回あったでしょうか。議会広報モニターを引き受け、再度、議会だよりを読み直しました。

138号の中に「田布施南地域防災センター」という文字を見つけました。この度の大雨時に「防災センターはどこにあるんだ。」と聞かれましたが、場所は麻郷としかわからず説明に困りました。

議会だよりには、分かりやすい案内図など掲載されていれば、災害時には行動しやすいのではないのでしょうか。また、地域の実情に応じた避難場所の設定、見直しが必要ではないでしょうか。

私が議会だよりのモニターとなり、本紙を通じてこれまで以上に議会活動や町政に関心を持つことになると思います。

異常気象の連鎖

小関 愿

7月上旬の西日本豪雨と、その後の記録的猛暑は、今年はお盆まで衰えずに、近隣では甚大なる被害で今尚復旧作業に追われています。幸いにも当地域には被害がなく、しかしながら連日の暑さで、熱中症対策や夏野菜の高温水不足による不作に皆さん大変な思いをされていることでしょう。

議会での質問のあった自治会の役割とは、私は災害時における各自治会の対応策を明確にし、行政と住民で連携し、土砂災害や豪雨災害の避難準備体制等を構築することが大切だと思います。

また高齢者や独居世帯の方の自助・共助で人命優先の安全対策を防災マップや高齢世帯のマップを自治会長や民生委員等の協力で作成されています。

行政が管理保管するだけでなく、各自治会の状況にあった安全危機管理の資料になればいいと感じました。

課題は次々と

平松 恭子

議会だより138号を読んで「今」「一番」重要な事はと考えました。毎年のように異常気象。今年は特に「命にかかわる（危険）」の枕詞も頻繁に聞かれました。

豪雨災害による山陽本線の不通。次々と発生する台風。私事、友人も被害にあい生活の根幹に関わる自然災害の脅威を切実に感じる夏となりました。災害対策は町政の一部ですが、今号の議題にある漁港整備、自治会の役割、高齢者への対応等全てにつながると思います。

年々より深刻に早急にと厳しく町政を担う事は日々新しい難題に向かう事だと実感しました。災害への備えは私達もできる事から。時季的に情報収集、避難場所、持出袋の確認でしょうか？

137号の傍聴記を読んで、一度はと訪れた本会議最終日。図らずも、長信町長引退表明の日。驚きと共にモニターとして感慨深いものでした。

◆お礼◆

議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙の中にもかかわらず、毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

カンボジア児童が来日



松田 規久夫

最近ではグローバルという言葉が聞かれます。小学校の英語学習は、従来5年生からの勉強であったが、今は3年生となっています。会話教師も外国人である。若い人にとって国際化は必須と言える。7月中旬、東小学校の協力で、カンボジア人6年生の男女児童と教師3名が1日体験学習をした。登校から給食、習字の勉強、体育館での実技など、カンボジアの将来に役立つ経験となったと思う。ガイド役を含め4人の来日では、彼らは温泉が好きではない。シャワーしか入浴の経験が無いからだ。人生としての経験は、判断材料として大切に将来役に立つ。

復興支援



畠 中 孝

7年前の東日本大震災の被災地には全国から多くの支援がなされた。その後、一昨年の熊本地震以後、昨年の九州北部豪雨災害、今年7月の西日本豪雨災害では特に広島県、岡山県、愛媛県、9月の台風21号では近畿地方、北海道胆振東部地震と度重なる自然災害に見舞われ、多くの被災者が不自由な生活を強いられている。西日本豪雨災害では光市の島田川の氾濫で知人宅も被災し、大変な生活をしている。被災地への支援は以前ほどには盛り上がりが出てきているように思う。被災者へ寄り添う気持ちで大切にし、出来る限りの支援を心がけたい。

議員リレー随筆

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会（3月・6月・9月・12月）と必要がある場合に開かれる臨時会があります。議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

【問合せ先】
議会事務局
☎（52・5800）

12月定例会の日程(予定)

10日	本会議 (初日) (一般質問)
12日	経済厚生委員会
16日	総務文教委員会
18日	本会議 (最終日)

※いずれも午前9時から
※正式には12月5日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。



町長退任記念 (9月26日)

◆議会を傍聴される方は傍聴規則により、傍聴席に携帯電話・スマートフォンを持ち込むことはできません。
12月議会は本庁舎耐震工事のため、町商工会館(サリジエ)で行われます。ご注意ください。

編集後記

異常気象という言葉だけでは片づけられない日本列島。集中豪雨に台風、35度を超える猛暑。追いつけ追いつけられないように大地震発生。どれも大きな災害をもたらしている。いまだに元の生活に戻れない人が沢山おられます。最近さかんに言われる南海トラフ。田布施町は大丈夫だろうか。多くの災害を教訓として対応を急がねばなりません。

議会だよりは過去、全国コンクールで最優秀賞1回、優秀賞2回、佳作2回、奨励賞3回とすばらしい成績をおさめました。読みやすい、読んでもらえるような企画構成が評価されたと思っています。再度評価される議会だよりには、なるべく努力を重ねてまいります。(谷村)

議会広報広聴調査委員
委員長 河内 賀寿
副委員長 西本 篤史
委員 谷村 善彦
 國本 悦郎
 竹谷 和彦